

第10期 第5回 練馬区循環型社会推進会議（発言要旨）

日時、場所	令和2年12月15日（火） 9時30分～11時30分 練馬区役所本庁舎5階 庁議室
出席者	出席委員名 11名 庄司委員、森(朋)委員、佐藤委員、鈴木(収)委員、松浦委員、横谷委員、高橋委員、武田委員、市川委員、五十嵐委員、四ツ目委員 事務局 6名 環境部長、環境課長、清掃リサイクル課長、みどり推進課長、練馬清掃事務所長、石神井清掃事務所長

【次第】

1 開会

2 議題

令和元年度練馬区第4次一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について

5 その他

6 閉会

---

議 事 内 容

---

○会長

おはようございます。第10期第5回練馬区循環型社会推進会議を開催いたします。  
事務局から出席状況の確認をお願いいたします。

事務局

委員の出席状況を報告いたします。ただいまの出席委員数は11名です。当該会議の定足数は8名ですので、本日の会議は成立いたします。

次に、第4回会議の発言要旨についてですが、1名の委員の方から修正の申出があり、修正したものを承認いただきました。区のホームページに掲載しています。

会長

ありがとうございました。それでは、議題に入ります。

議題1 令和元年度練馬区第4次一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について。事務局から説明をお願いします。

事務局

（資料1 - 1、資料1 - 2、参考資料の説明）

会長

ありがとうございました。ごみ収集量は、資源も含まれた合計と考えてよいですか。資源は別ですか。

事務局

ごみ収集量は、ごみの量です。資源量は、資源の量です。ごみと資源は別です。

会長

定義についても、同様ですか。

事務局

同様です。

委員

報告いただいたのは令和元年度でした。肝心なのは、コロナの影響をまともに受けている令和2年度です。令和元年度と比較してごみ全体の動きはどのように変わってきていますか。

事務局

ごみ量は全体としては増えています。可燃ごみ、不燃ごみは、令和2年5月がピークでした。可燃ごみは、前年度比で、6.2%増、不燃ごみは、前年度比で、37.1%増でした。印象では、びん類が多くなっていたと収集職員から聞いております。4月から11月までのごみ量全体では約4%増えています。可燃ごみは、だんだん減っています。前年度比で、10月は97.4%、11月は99.1%でした。不燃ごみは、前年度比で、9月が86%、10月が98%でしたが、11月は116%で、また増え始めている傾向です。粗大ごみは、令和2年4月以降、前年度比で100%を切ったことはありません。今朝、受けた報告によると、年内の粗大ごみの収集は予約でいっぱいになっています。粗大ごみは、可燃、不燃に比べても、かなり目立って増加しています。

委員

ウィズコロナの時代になり、区民が、今まで家の片隅にあった物を片付けてきれいにしようという行動を始めた、という印象を受けます。コロナによって、新しい生活パターンが始まったということの表れではないかと思います。全く変わっていないのならば、少し問題があると思っていましたが、変わっているということを知り、安心しました。

会長

増えているごみの内訳で、食品ごみが増えているなど、特徴はありますか。

事務局

今年度はコロナの関係で、組成分析ができていません。家庭で飲食している方が多いので、家庭ごみが多い等の傾向はあるかと思えます。

会長

コロナの関係で、組成分析できないというのは分かりますが、重要なポイントでしたので、残念です。

委員

コロナで家庭ごみの変わったことについて、家庭ごみを収集している人から、聞き取りを行っていただきたいと思います。例えば、消毒用スプレーが燃えるごみに入っていたり、コロナに関する廃棄物が多かったなど、実態が分かります。ドライバーも作業員も、細心の注意を払って、動いていますので、参考になると思います。

会長

ほかにありますか。

副会長

令和元年度の様々な取組の中で、特に、普及啓発やイベントについては、区民の皆さんに、お伝えする機会が減ってしまったのではないかと思います。令和元年度と比べて、今年度取組ができなかったというものを、教えてください。

事務局

お祭りのように不特定多数の方が集まるイベントが中止になりました。リサイクルセンターでの講座も、夏場までは全部中止にしました。9月から徐々に再開していますが、ネット配信をしていくといったような取組を、積極的に進めていかなければいけないと考えています。

会長

ほかにありますか。

委員

レジ袋の有料化は、意識を変えるきっかけになり、マイバッグを持っていくことが、習慣になってきているということを感じています。その反面、家庭では、生ごみなどをビニール袋に入れて水切りをしていますが、レジ袋の切替えと同じように進めていけるのではないかと感じています。

事務局

水切り袋は、今まで、プラスチック製だったのですが、新しく紙製のものを作りました。イベント等が中止になっていますが、機会を見て、普及啓発していきたいと考えています。

委員

環境教育について、他区ではSDGsの12番目「つくる責任・つかう責任」で、学校で出される牛乳パックのリサイクルを進めているのですが、練馬区は、いかがですか。

事務局

学校の牛乳パックは、事業者が資源として収集しております。

委員

当組合で、今年から都立高校と牛乳パックのリサイクルの契約を結びました。都立高校だけでなく、小中学校も同じような形で進めていくことは、大事なのではないか。少しずつ進めていかないと、ごみが増えていくだけと考えます。

事務局

区立施設から出るものについては、なるべく資源化していくという考え方で、取り組んでいます。

委員

スーパーや販売店で、牛乳パックを回収しているのをよく見かけます。可燃ごみの中にも出ているのですか。

事務局

雑紙等と同じく、資源回収を行っております。区民の皆様の一定程度のご協力をいただけていると考えております。

会長

ほかにはいかがでしょうか。

委員

家庭ごみがコロナによって、どう変わったかということですが、マスクが増えているそうですね。マスクはウイルスがついている可能性があります。マスクの捨て方についてルールが守られていないこともあります。正しい捨て方について、再徹底するとよいと思います。

事務局

マスクの捨て方について、環境省からも案内が出ています。区でもホームページや、区報に掲載し周知を図っています。残念ながらマスクが風に舞っているなど、ルール違反が散見されます。マスクの正しい捨て方について、これからも周知徹底していきます。

#### 委員

マスクのポイ捨てがいかに増えているか。ここ数か月、路上で捨てられているマスクを見なかった日は一度もありません。PRの方法として、区民が一番目につきやすいのは何か。回覧板は、町会の中で回って、発信元へ回収されるまで約10日かかります。区報は、月に3回しか発行されていません。目にする人も新聞購読者等に限定されます。ホームページは、次から次に新しいニュースと入れ替わるので、意外と読まれていません。区民にとって、一番手っ取り早い広報手段は何か。それは、街中にある掲示板です。非常に効果的で、活字が大きいし、絵も入るといふことで、立ち止まって見ます。

#### 事務局

掲示板はかなり効果があるというお話でしたので、引き続き、より良いPR方法について、検討させていただきたいと思います。

#### 会長

レジ袋有料化について、区で何か押さえていらっしゃいますか。

#### 事務局

ごみの出し方では、あまり変化が無いようです。

#### 会長

私が有料化に関して感じていることは、抵抗なく受け入れられているということです。スーパーなどでレジ袋をもらう人は、ほとんどいません。大きな変化ですが意外とスムーズに行っています。しかし、レジ袋に代わり、内袋に使うようなプラスチック製の薄い袋を、使っています。あれは、お店のサービスです。レジ袋をやめてもそれでは意味がない。消費者側の意識の問題だと思えます。このことについて、区としての動きはありますか。

#### 事務局

プラスチック製の薄い袋については、区で検討する段階にはなっておりません。

#### 委員

お店によって違うと思いますが、光が丘には、大きなスーパーが二つあります。車で来る人は、レジ袋の代わりに、店に置いてあるダンボールを持って帰ります。そのダンボールは、その後資源ごみで出しています。高齢化が進む中、資源ごみの回収についても考えていかなければならない。一人一人の意識はかなり変わってきています。スーパーだけではなく、薬局での薬一つにしても、マイバッグ等に入れて持って帰るといふのが常態化しています。意識が高まっていると思います。

#### 会長

最近、私の周りでもダンボールがかなり出るようになりました。回収業者の方から見ると、どうですか。

#### 委員

古紙の排出も、ごみと同じ状態で、5月のゴールデンウィークのあたりは、対前年比140から150%、年末年始のような大きな排出量になりました。ダンボールも、少し落ち着いてきているのですが、12月に入ってから、徐々に増えてきております。今後も、排出が増えるの見込んでいます。

#### 副会長

先ほどレジ袋の話が出たので、私が所属している国立環境研究所から、幾つか出た話題について、補足の説明をさせていただきます。

まず一つ、ごみ袋としてレジ袋を使っていらっしゃる方が、ごみの排出に困るのではないかというご意見。幾つかの自治体の実態を見ると、基本的には、レジ袋ぐらいのサイズではなくて、40L、45Lの大きな袋で出されている方が、圧倒的に多いです。では、レジ袋を何に使っていたのかというと、各部屋に置いているごみ箱にセットしているのです。ある研究によると、一つの45Lのごみ袋の中に、平均で4枚から5枚、レジ袋が入っているそうなので、そういったものに恐らく使われてきたのだらうと思います。レジ袋が有料化されたことで、毎回ごみ箱から、その袋ごと捨てるのをやめた方が多くて、まだ汚れていないから、直接45Lの大きい方に入れるなどの工夫をされていることで、あまり不便ではないのかと予測しています。

次に、内袋です。本来は、国でも有料化すべきものだという認識ではあったようです。マイバッグで代替できるような外袋と比べると、消費者にとってすぐに代替が利かないものであり、衛生状態を気にする方にとって代替策がないため、まずは外袋の方だけ有料化になったと聞いています。お店の方が内袋を使ってしまうのは、望ましくないもので、少なくとも買うときに選択できるようになればよいと思います。

最後に、レジ袋の有料化で、プラスチックに関する皆さんの関心が高くなってきているということを受け、国立環境研究所では、YouTubeで、動画を配信しています。レジ袋有料化の疑問点に研究者が答えるという、分かりやすい動画を2本作りましたので、ぜひ、ご覧ください。

#### 会長

内袋については、機械的に入れるお店があります。これは少し考えた方がいいでしょうね。

#### 委員

ミニサイズの生ごみ処理機があれば、キッチンの横に置いて、生ごみを入れれば、自分で水切りをする必要もなく、直接、可燃ごみに出せるので、よいと思います。

#### 事務局

練馬区では、生ごみ処理機等の購入助成として、上限2万円の補助金を出しています。例年は1年分の助成金は、予算内で収まっていたのですが、今年は、通販番組の宣伝やステイホームの影響なのか、夏頃に予算がなくなりました。生ごみの処理に関心のある方が増えてきています。

#### 会長

時間も経過しましたので、議題(1)の進捗状況については、これで終わります。

私たち第10期の委員の任期は、令和3年3月31日までですが、年度内に会議は予定されていませんので、本日が最後の会議になろうかと思えます。感想、ご意見など皆さんから一言ずついただき、区で参考にさせていただきたいと思えます。

#### 委員

色々勉強させていただきました。温暖化などの問題がある中、人間が暮らしやすい環境となるよう、ごみ削減やリサイクルなどについて、みんなの意識が変わっていくことが必要だということをつくづく感じました。ありがとうございました。

#### 委員

この会議の委員になって、ごみのリサイクルの重要性などがわかりました。アプリとか、ごみの出し方の冊子とか、いいものを作っておられるのですが、区民は、この存在すら知らないと思えます。掲示板などでPRしてもらえればいいなと思えます。ありがとうございました。

#### 委員

この会議に出させていただいて、ごみの処理がどれだけ大事なことかということがよく分かりました。私も住んでいる集合住宅の総会と理事会で、ごみの話を何回かさせていただきました。集積所がありますので、その分類を変えまして、それぞれ表示をつけまして、例えばダンボールを置いているところには軍手を置きまして、出す人は自分でやりなさいということが、少しずつできるようになりました。大変ありがとうございました。

#### 委員

3期6年やらせていただき、この間いろいろな経験をさせていただきました。区の間組をいろいろ知ることができました。ごみ問題は、特に都会で暮らしていると、本当に大切なことだと思えます。これからも、この経験を生かして、日々の生活に役立てたいと思えます。また、災害、生活様式の変化、コロナの問題もあって、ごみ問題もどんどん変わっていくと思えます。日々大変になると思えますが、区に協力していきたいと考えておりますので、わかりやすく周知、啓発をいただけたらと思えます。ありがとうございました。

#### 副会長

2年間ありがとうございました。毎回会議に参加させていただくことで、研究者や国の

方と議論するだけでは、現場が見えてこなかったところを、いろいろな生のご意見を勉強させていただくことができ、大変助かったと思っております。幾つかこういった自治体の会議に出席しているのですが、練馬区の会議は、発言が多いことが私は楽しいと思っております。委員の皆さんが活発に、素朴な視点から、驚かされるようなご意見や質問が出てくるので、毎回楽しみにしているところです。アクティブな区民の方のキャラクターが出ている会議かと思っております。とてもいいことだと思いますので、引き続き、皆さん意見を発言できる楽しい会議になればいいかなと思っております。

#### 委員

リサイクル協同組合の代表理事ということで、長年にわたって委員の方をやらせていただいております。コロナの影響というのは、常に心配があります。現場で、びん、缶、ペット等を回収していて、袋を破袋して、その中から手探りして行うということで、非常に危険な仕事に携わっているのですが、幸いにして、現場の回収員等が感染したということは、報告が上がっておりませんので、安堵しているところです。回収量も増え、古紙においては、新聞、雑誌の回収量が減る中、ダンボールだけがボリュウムが大きくなっています。回収の方法等も、これから考えていかななくてはならないかなと思っております。また、長年、集団回収に対する業者支援をお願いしていたところ、今年7月から、支援をいただけることになりました。ありがとうございます。お礼申し上げます。これからはしっかりと、事業に携わらせていただきます。よろしく申し上げます。

#### 委員

私は、東京都資源回収事業協同組合練馬支部長として、この会に参加させていただいております。我々の業界、エッセンシャルワーカーですが、本当にコロナに感染した例というのは、全国的にないのです。これだけはありがたいと思っております。我々の業界は、いい時が短くて、悪い時が長いのです。古紙の価格も、来年は環境規制で中国が輸入をストップします。鉄に関しては、何とか流れるような形になっていますが、来年は本当に怖い時期が来るのかと思っております。どうもありがとうございました。

#### 委員

大変お世話になりました。この会議は、区民、学識の先生、事業者が意見を交わせる重要な会議なので、長く続けていただければありがたいと思っております。コロナ禍で大変な時代になってしまいましたが、私どもエッセンシャルワーカーは、世の中の縁の下で、表に出るようなことがなかったのですが、集積所に励ましのお手紙を置いていただいたり、お電話をいただいたり、そのことが、私たちエッセンシャルワーカーの唯一の励みになりました。こういうお言葉を大事にしなが、日本のために、また練馬区のために尽力していきたいと思っております。引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

#### 委員

今年度、学校では変化がありました。通常ですと、教室等には、燃えるごみと燃えない

ごみの2つのごみ箱があるのですが、今年度は、マスク等を入れる3つ目のごみ箱が置かれています。子どもたちも意識して、分別しているのだという事を改めて感じました。教育においても、今後、普及啓発を更に進めていければと考えております。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

#### 委員

この会議のいろいろなお話等々について、私が別途関係しております地球温暖化の会議においても大いに参考にさせていただいております。先ほど出ました、プラスチックの袋についてですが、プラスチックのごみが大量に流れ出ていくと、世界から魚がどれだけ減るかという議論がようやく出てきました。これは食生活の問題とも関わってくるし、人類の生存の問題にも関わってきます。ごみ袋というのは、大変な大きな問題を抱えていると思います。ありがとうございました。

#### 事務局

本日ご欠席の委員からメッセージをいただいておりますので、読み上げさせていただきます。

第10期の最終回の会議に出席できずに残念です。私は、平成26年10月から約6年、この会議の委員を務めさせていただいております。第10期においても、ごみの減量について、いろいろ考えさせられました。練馬区のご努力により、家庭ごみは減少し、区民のリサイクル意識も高まったと評価しております。ただ、事業ごみが増えており、今後は事業ごみにメスを入れないとごみの減量という本質的な問題は解決しないのではないかと思います。

現在、新型コロナウイルスの影響により、我々の生活スタイルも変化し、ごみの出し方も変化しております。今後は、新しい生活も踏まえて議論する必要があるのではないかと思います。この会議により、様々なことを考えさせられ、また委員の皆様方の貴重な意見が大変参考になりました。この2年間、ありがとうございました。

以上です。

#### 会長

皆様、お疲れさまでした。私は他の自治体のこのような会議にいくつか参加させていただいていますが、この会議は、各委員の皆さんからの発言が多いということ強く感じます。いろいろな意味で効果を上げて、区にとっても参考になっているのではないのかと思います。2年というのは、長いようで短いのですが、特に、後半は、コロナで終わってしまったような感じがします。コロナの影響は、廃棄物処理に関していろいろな問題が提起されたと思います。今の環境行政は、資源循環やごみ減量という点に注目されますが、原点は、衛生的な処理です。その原点がコロナで改めて見直されてきている。そういう意味では、ごみ処理を見直すひとつのチャンスかなと思いました。

次期以降の問題ですが、地球温暖化の問題、言い換えればCO<sub>2</sub>排出量削減です。温暖化の中でのごみ処理の位置づけが重要になると思います。また、プラスチック対策がより重要になってくると思います。次回の会議は、そういったことを根底におきながらの議論が進められていくのかなと思いました。ありがとうございました。

#### 事務局

2年間の活動を振り返っていただきまして、本当にありがとうございました。この2年間での最大の出来事というのは、新型コロナの蔓延です。社会の在り方について、大きく変化が求められていて、まだ我々はその答えが見つけられません。区だけでは、とても進められるものではありません。ここで学んだことを、皆様も、それぞれ地域に戻られ、あるいは、それぞれの活動の中で、生かしていただければと思います。地域の環境を守るためには、皆様方のご協力、ご尽力が欠かせないということをお願いしまして、第10期の終了に当たってのご挨拶とさせていただきます。

#### 事務局

それでは、これをもちまして、第10期の第5回練馬区循環型社会推進会議を閉会いたします。ありがとうございました。